

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラブジュニア		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達や特性に合わせた個別支援	アセスメントをもとに一人ひとりの課題・目標を明確化 その日の様子に合わせて課題の難易度や内容を柔軟に調整 「できた！」を積み重ねられるようスモールステップで設定	支援記録をもとに定期的な振り返り・ケース検討を実施 職員間で成功事例を共有し、支援方法の標準化・底上げ アセスメントツールや評価指標を活用し、支援の見える化を強化
2	遊びやゲームを通して関わることで、無理なく意欲を引き出し、継続しやすい	子どもの興味(好きな遊び・キャラクターなど)を活動に取り入れる 課題もゲーム形式やストーリー仕立てにして自然に取り組める形にする 無理にやらせず、「やりたい！」を引き出す声かけや関わりを重視	新しい教材やプログラム(ビジョントレーニング・手先課題など)を導入 季節行事や制作活動を取り入れ、経験の幅を広げる 子どもの興味の変化に合わせて、活動内容を随時アップデート
3	やり取り・順番・気持ちのコントロールなどを段階的に学び、集団生活につながる力が育つ	個別で練習 → 小集団で実践の段階的なステップ設定 ルールややり取りを視覚化(カード・見える化)して理解しやすくする トラブル場面も含めて、振り返りや言語化のサポートを行う	小集団活動の機会を段階的に増やす ロールプレイや疑似体験を取り入れ、実践的な練習を強化 学校生活を想定した場面設定で、就学後を見据えた支援

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	担当者によって関わり方や支援の質に差が出る可能性	職員ごとの経験年数・専門性の違い 暗黙知(経験や感覚)に頼る場面がある 情報共有や支援方法の言語化が不十分な場合がある	ケース会議・情報共有の徹底 支援方法のマニュアル化・標準化 研修やOJTの強化
2	人気時間帯(夕方など)は空きが少なくなりやすい	個別療育のため、同時に対応できる人数に限りがある	利用時間の調整提案 早めの案内・予約管理の工夫
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 クラブジュニア

公表日 2026年 3月25日

利用児童数 48

回収数 28

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1	1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	2		2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	7	4	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	6	2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	5				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	7	4	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		5		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	28					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	クラブジュニア					公表日	2026年 3月25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	体を動かす場所にはマットを引いています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3		玄関の階段部分の改善の必要があるかと思えます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の清掃を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じて子どもが個別の部屋や場所を使用できるよう、クールダウンができる環境を整えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		PDCAサイクルを全職員で共有し、ミーティングや見える化を通して継続的に取り組める体制を整えます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎回アンケート内容を基に、事業所運営の改善を検討しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部講師を招き、定期的な研修会を実施しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	HPで公表しております		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	アセスメントや定期的なモニタリング等で適切な計画作成に努めています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	児童発達支援計画は児童発達支援管理責任者を中心に職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		地域支援・地域連携の視点が十分に取り入れられていないため、今後は関係機関との連携や地域資源の活用を含めた支援の充実を図っていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	NCプログラムを用い、チームで活動プログラムを立案し、個々に合った支援を行っています。		

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	様々な教材、活動内容をまとめて子供たちが来るのが楽しくなるように工夫しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		現状、打合せについて、時間の都合により十分に実施できない場合がある。そのため、今後は短時間での打合せや事前の情報共有ツールの活用等により、支援内容や役割分担の確認を確実にし、チームで連携した支援体制の強化を図っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	観察を行いメモを取ったり日葡にて共有しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	自発管が参加し、その後職員に共有しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	保護者様にモニタリングの際に声をかけ、連携を行うように共有しています。また送迎時にも園への声掛けを行っています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		イベント等の活動を通して今後行えるようにしたいです
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保護者様からの依頼があれば、情報共有を行っております	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	研修に出向き質問を行う機会を設けています	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日報で日々の報告を行っています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	チャットやモニタリングにてご相談を受けた際には情報提供を行っています		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	チャットや送迎時にも行っております	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		本年度はできていなかったため、来年度は交流を設けたいと思います
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	チャットに関しては即日に対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		イベントを通して行えればと思っています
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的に研修を行っています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年2回防災訓練を行っています。防災クイズも出し子供たちに楽しく触れてもらっています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5		食事提供がないため行っていませんが、必要があれば行っていきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0			